



ニッポンのモノづくり品質を世界へ

nms ホールディングス株式会社

2018年3月期 第2四半期累計期間 決算概要

2017年11月16日

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

これが私たちnmsグループのキーワードです。

3つの事業を組み合わせ、人材ソリューションから、効率生産を実現するEMS（製造受託）、さまざまな機器類の「安全・安心」を確保する電源製品の開発・製造・販売までお客様の多種多様なニーズにお応えします。

HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を
知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

日本マニュファクチャリングサービス

EMS

エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

志摩電子工業
テークイアール

PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

パワーサプライテクノロジー

計画に対し堅調に推移、経常利益・四半期純利益は大幅増益

HS事業、EMS事業が計画に対し堅調に推移、これまで実行してきた体質強化の成果や特別利益の計上もあり、経常利益・四半期純利益は大幅増益

通期業績予想を上方修正

経常利益・当期純利益は前期に対し倍増を見込む

5月12日公表の予想に対し売上・利益とも増額修正、経常利益・当期純利益は前期実績に対し倍増となる見込み

売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
新予想値	前期実績比	新予想値	前期実績比	新予想値	前期実績比	新予想値	前期実績比
53,500	2%減	1,200	23%増	1,300	2.3倍	1,000	2.0倍

中長期成長につながる施策を実行

① 新興市場開拓

・タイにおける人材ソリューション事業を拡大 ・ベトナム拠点における車載部品製造受託を拡大

② 新スキームの立ち上げ

・外国人技能実習生向け研修事業会社を設立、入国後教育研修のための施設を設置
 ・ベトナム国政府認定の技能実習生送り出し機関と業務提携

③ 新製品開発・投入

・「リチウムイオン二次電池パック」開発・市場投入、電池マネジメントシステム事業を立ち上げ

1 2018年3月期 第2四半期累計期間 決算報告

2 中長期成長につながる施策を実行

1-1. 業績ハイライト

- ヒューマンソリューション（HS）事業、エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業が国内外の需要に支えられ、計画に対し堅調に推移
- 利益面では、営業外収益の増加や、営業外費用の減少、投資有価証券売却益（161百万円）の計上等により、経常利益、四半期純利益で大幅増益

(単位：百万円)	2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期 第2四半期		
		実績	前年同期比 売上高：％ 利益：金額	主なポイント
売上高	28,937	26,939	△6.9%	【売上高・営業利益】 HS事業、EMS事業が 計画に対し堅調に推移 【経常利益】 営業外収益 218百万円 （前年同期比156百万円増） 営業外費用 212百万円 （前年同期比477百万円減） 【特別利益】 投資有価証券売却益 161百万円 固定資産売却益 59百万円
営業利益	688	596	△91	
経常利益	61	603	+541	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△92	570	+663	

1-2. セグメント別業績ハイライト

- HS事業は先行投資コストによる利益圧迫要因があったが、需要は国内・海外とも堅調に推移
- EMS事業は中国子会社解散による減収影響があったものの、体質強化の成果等により大幅増益
- PS事業は端境期が継続

(単位：百万円)		2017年3月期 第2四半期 実績	2018年3月期 第2四半期		
			実績	前年同期比 売上高：％ 利益：金額	主なポイント
HS事業	売上高	6,774	8,268	+22.0%	国内外における成長戦略実行による先行投資コスト発生等による利益圧迫要因があったが需要は堅調に推移、前年同期対比で売上増加
	セグメント利益	307	264	△43	
EMS事業	売上高	15,742	13,331	△15.3%	中国子会社解散による減収影響があったものの、工作機械関連需要を中心に堅調に推移、体質強化成果もあり大幅増益（対前年同期比78%増）
	セグメント利益	229	408	+179	
PS事業	売上高	6,421	5,339	△16.8%	既存製品の調整に加え、新規分野への製品投入端境期にあるため前年同期比で減収減益
	セグメント利益	360	125	△235	
調整額	セグメント利益	△208	△200	+7	当社（持株会社）に係る全社費用 * 持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	28,937	26,939	△6.9%	
	セグメント利益	688	596	△91	

* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

* 持株会社体制への移行に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法について、当社（持株会社）に係る全社費用を各セグメントに配分しない方法に変更しております。前第2四半期実績についても、変更後の区分方法を反映しております。

売上高

8,268百万円

前年同期比 +22.0%

セグメント利益

264百万円

前年同期比 △43百万円

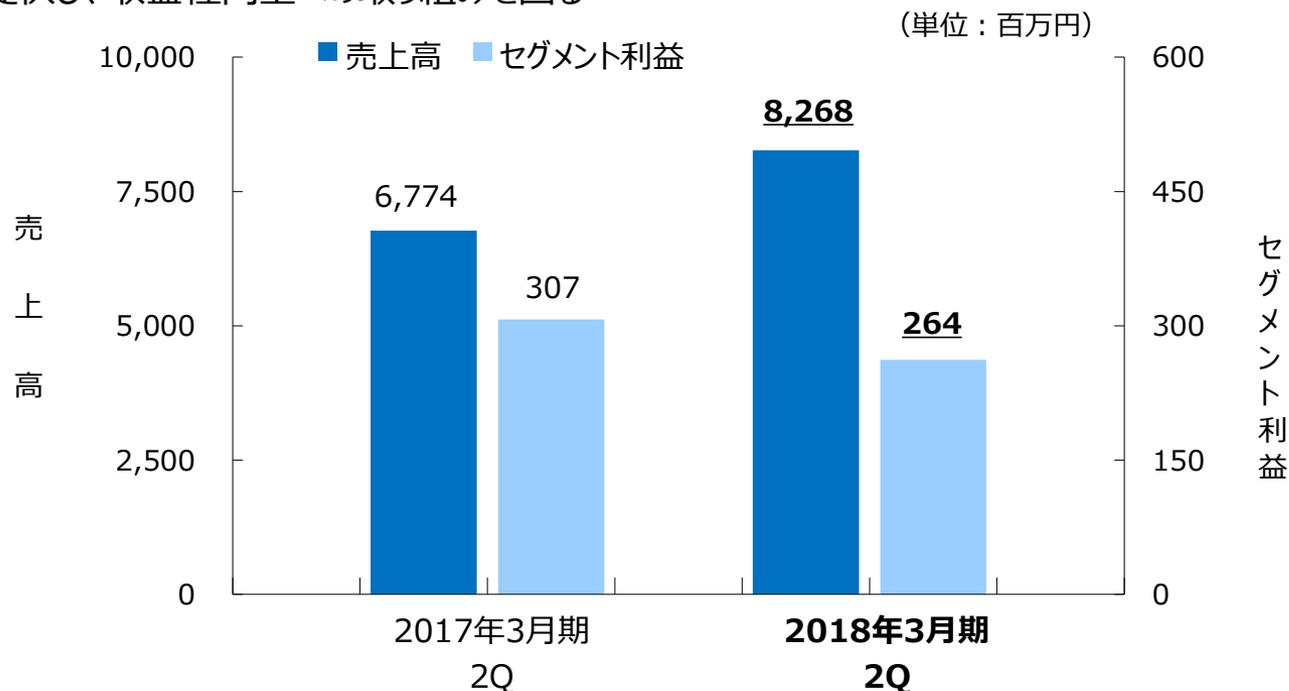
【国内】

正社員化、福利厚生充実等により、採用力、定着率の向上を図り
製造請負では、管理体制強化による生産効率改善や単価交渉により収益性向上

【海外】

中国での市場環境変化、人件費高騰等が続いたが、タイやベトナムにおける
人材ソリューションは堅調に推移。特に、ベトナムにおいては、人材ソリューションと
製造受託を組み合わせ、新たなサービスの提供が好調に推移

国内および海外における先行投資コストの発生等が利益圧迫要因となったが、
グループ連携・リソースの活用を行いながら「人材ソリューション+モノづくり」によるサービス
を提供し、収益性向上への取り組みを図る



売上高

13,331百万円

前年同期比 Δ 15.3%

セグメント利益

408百万円

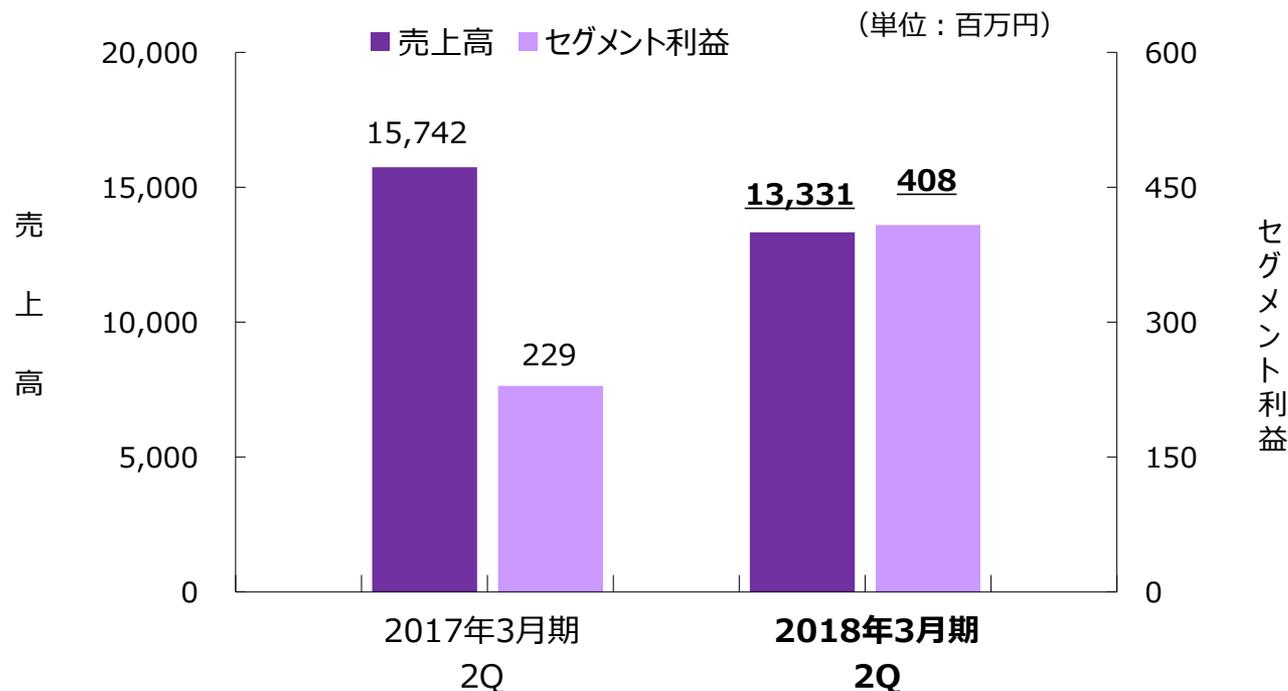
前年同期比 +179百万円

【国内】

前事業年度に実施したTKR各社での国内工場統合等の構造改革による利益改善効果と工作機械の受注回復により、計画に対しては堅調に推移

【海外】

前年同期対比では、中国の子会社「志摩電子（深圳）有限公司」解散による影響で売上減となったものの、利益においては構造改革効果及びマレーシアにおける白物家電関連の生産等を中心に好調な業績を維持し大幅増益



売上高

5,339百万円

前年同期比 △16.8%

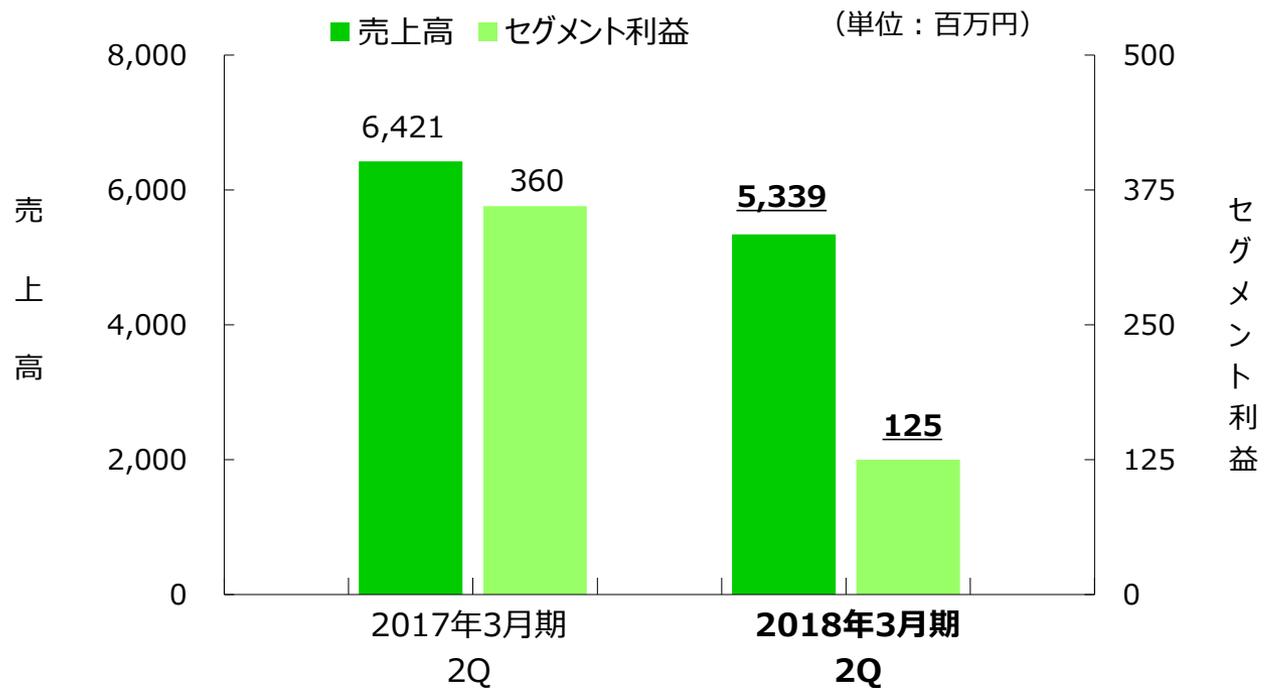
セグメント利益

125百万円

前年同期比 △235百万円

・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期にあり、前年同期対比で減収減益となったが、新規受注の獲得により挽回を図る

・中長期における成長戦略として、これまで培ってきた電源技術を活かし、自動車における「電池マネジメントシステム事業」を始動、リチウムイオン二次電池パックを開発・市場投入



1-3. 業績ハイライト (B/S)

- 当第1四半期より、グループにおける資金調達・管理を持株会社に一元化し、効率的な資金運用体制に移行
- 借入金についても、国内関係会社の借入については親会社が借入を行なう運用に移行しており、当第1四半期末では一時的に現預金と両建てで借入金が増加したが、第2四半期末では2,585百万円減少

(単位：百万円)	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減	主なポイント
流動資産	18,308	19,919	+1,611	現預金 +560 売掛 +1,322 在庫 △180
固定資産	6,251	5,657	△593	
有形固定資産	4,197	4,362	+165	
無形固定資産	526	570	+43	
投資その他の資産	1,527	724	△802	投資有価証券△221 関係会社貸付△344
資産合計	24,559	25,577	+1,017	
負債合計	19,599	20,308	+709	
流動負債	15,879	13,155	△2,723	【借入金残高】 17/9末 11,984 17/6末 14,569 17/3末 11,664
固定負債	3,719	7,152	+3,432	
純資産合計	4,960	5,268	+308	
負債・純資産合計	24,559	25,577	+1,017	

1-4. 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)		2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	主なポイント
税金等調整前四半期純利益		20	781	
減価償却費		316	347	
運転資金の増減		△109	△ 982	売掛 △1,258 在庫 45 買掛 230
その他		199	△ 218	
営業キャッシュ・フロー		427	△ 71	
固定資産の取得・売却		△244	△ 151	売却収入 419 取得支出 △571
その他		△274	654	投資有価証券売却 232
投資キャッシュ・フロー		△518	502	
フリーキャッシュ・フロー		△91	431	
借入金の増減		699	364	
配当金支払 他		△131	81	配当金 △59
財務キャッシュ・フロー		567	446	
ネットデット		(2017年3月末) 8,424	(2017年9月末) 8,319	

1-5. 2018年3月期 通期業績予想

- 5月12日公表予想に対し売上・利益とも増額を見込む
- 前期比では、売上高は一部事業の端境期が続いており微減となるものの、大幅増益となる見通し
経常利益、当期純利益とも、前期に対し倍増となる見込み

(単位：百万円)	2017年 3月期	2018年3月期			
	通期実績	前回予想 (5月12日公表数値)	今回予想	前期比 () 内は増減率	前回予想比 () 内は増減率
売上高	54,581	52,000	53,500	△1,081 (△2.0%)	+1,500 (2.9%)
営業利益	974	1,100	1,200	+225 (23.2%)	+100 (9.1%)
経常利益	561	1,000	1,300	+739 (131.4%)	+300 (30.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	493	850	1,000	+507 (102.6%)	+150 (17.6%)
1株当たり当期純利益 (円)	50.51	99.06	116.54		

(参考) セグメント別 通期業績予想

- HS事業は国内・海外における先行投資に伴うコスト等があり、利益は前期比で微減となるものの需要は引き続き堅調に推移、増収を見込む
- EMS事業は中国子会社解散に伴う減収影響があるものの、大幅増益となる見通し
- PS事業は端境期が続くが、新規受注獲得や開発新製品投入等、来期につながる施策を実行

(単位：百万円)		2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比 売上高：％ 利益：金額
HS事業	売上高	13,906	17,200	+23.7%
	セグメント利益	682	640	△42
EMS事業	売上高	28,300	25,600	△9.5%
	セグメント利益	122	540	+418
PS事業	売上高	12,374	10,700	△13.5%
	セグメント利益	622	460	△162
調整額	セグメント利益	△452	△440	+12
合計	売上高	54,581	53,500	△2.0%
	セグメント利益	974	1,200	+226

* 持株会社体制への移行に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法について、当社（持株会社）に係る全社費用を各セグメントに配分しない方法に変更しております。前期実績についても、変更後の区分方法を反映しております。

1 2018年3月期 第2四半期累計期間 決算報告

2 中長期成長につながる施策を実行

2. nmsグループを取り巻く環境

少子高齢化による労働力減少リスクの顕在化
新興国の台頭、生産地域の多極化
環境規制強化による新エネルギー需要の高まり

HS

EMS

PS

人材リソースの多様化
新たなスキームの提案

機動的な
生産拠点戦略の提案

「電動化」への転換
(自動車、産業機器等)

高度人材の育成・派遣
ASEAN各国・地域との連携

省人化・省力化による
効率的生産ラインの構築

「電池マネジメントシステム」
事業の立ち上げ

外国人技能実習生の定着支援

「グローバルコスト」への提案

「電池パック」開発・市場投入

① 新興市場開拓

② 新スキームの立ち上げ

③ 新製品開発・投入

HS (人材サービス) / EMS (製造受託) / PS (電源製品の開発・生産・販売)
それぞれの特長を活かした連携で基盤を強化

ベトナム 「人材ソリューション+EMSノウハウ」でお客様の海外生産展開を支援



2016年1月 **NMS VIETNAM CO., LTD. 設立**
 2016年6月 ベトナム工場竣工、操業開始
 2016年7月 製造受託開始



- 現在の受託内容 : 車載部品のアッセンブリ業務
- 生産人員規模 : 受託開始時期 300名 → 2017年10月現在 920名
- 今後の計画
 - ① TKRグループの省力化設備を用いての受託製造案件確定、生産効率アップを推進
 - ② 品質管理・検査業務など受託範囲を拡げ、顧客基盤を拡大
 - ③ 受託品質のさらなる向上に向け、人材サービス事業を行う
 NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO.,LTD.の機能を活かし
 現地人材への教育の仕組みを構築、高度人材育成を推進



2017年3月1日開所式開催



活況が続く構内生産ライン



2-2. ② 新スキームの立ち上げ 外国人技能実習生・受け入れ先の総合支援

少子高齢化が続く中、広がる人材リソースの多様化ニーズ

農業分野

農業就業人口はこの30年間で約7割減少（150万人レベル）、平均年齢も上昇

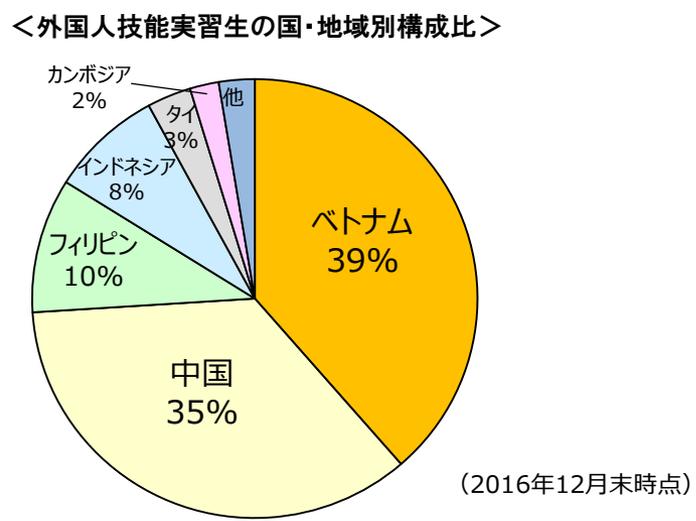
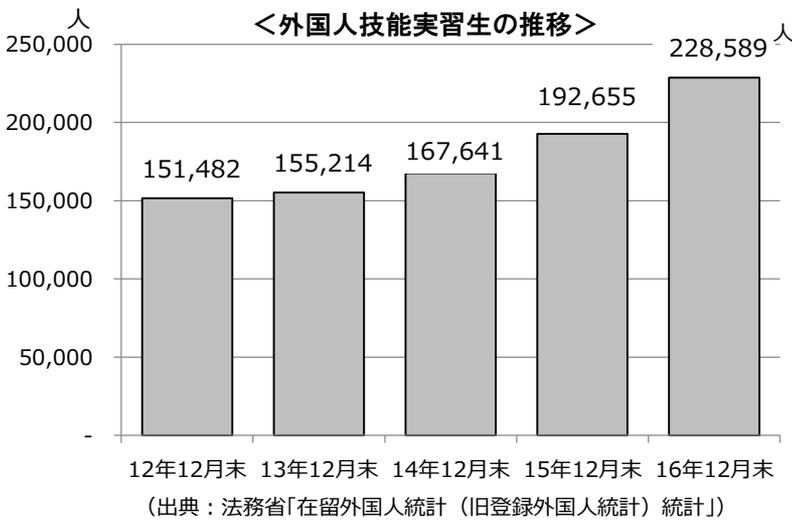
介護分野

2017年から団塊の世代が70歳代に突入し、団塊ジュニアの介護離職問題が顕在化

製造分野

製造業の多くの分野で人材不足が継続、今後も人材の確保は一段と困難となる見込み
このような状況の下、nmsグループはすでに200名規模の実習生受け入れを実施中

外国人技能実習生 開発途上国等に対する日本の国際貢献・国際協力の一環として「外国人技能実習制度」創設、2016年12月末時点で全国に約23万人在留。農業分野や介護分野等、対象職種が広がる中、受け入れ促進に向けた取り組み・体制整備が急務



日本 外国人技能実習生向け研修事業会社（JATEO）を設立

外国人技能実習生の早期定着に向け、受け入れ先ニーズに合った入国後教育研修を実施あわせて、実習生受け入れに関わる業務を受託、実習生・受け入れ先双方を総合的にサポート

➤ 入国後教育研修の実施環境を整備、研修施設を設置

研修施設「JATEO東京スクール」を開設、年内をめどに稼働開始
2018年度以降の受託人数は、年間（累計）1,000人規模を計画
受け入れ先ニーズに合った講習・技能訓練を企画・構成し提供

➤ 実習生受け入れに関わる必要業務を受託

総務・人事・労務・福利厚生等に関する業務を総合的かつ専門的に支援

➤ 母国帰国後の就職も支援、幅広いサポートを実施

中国における介護現場実習を実施

介護分野における中国人技能実習生の育成を目的に、日本の社会福祉法人や医療法人、中国現地の学校や人材送り出し機関等で構成された「日中介護実習プログラム委員会」に参画、日本の介護技術習得を目的とした現場研修を実施するなど、介護人材育成への取り組みを進めています。



JATEO 株式会社日本技能教育機構 <http://jateo.n-ms.co.jp/>

事業内容	外国人技能実習制度に関わる以下の事業 ①入国後教育研修の受託 ②実習生受け入れ先への業務支援
設立	2017年8月22日（事業開始 2017年9月1日）
研修施設	「JATEO東京スクール」千葉県我孫子市湖北台

海外

ベトナム国政府認定の技能実習生送り出し機関と業務提携

ベトナムで人材ソリューション事業を展開するNMS INTERNATIONAL RESOURCES CO.,LTD.が、外国人技能生の最大送り出し国であるベトナムの政府認定送り出し機関「TRI DUC MDC., JSC」と業務提携契約を締結

➤ 受け入れ先ニーズにあった、送り出し人材のマッチングサポートを実施

➤ 現地における事前教育研修・作業実習機会を提供

NMS VIETNAM CO., LTD.のリソースを活用

➤ JATEO活用による入国後研修の実施

安心して実習に臨める環境づくりをサポート
実習生受け入れに必要な業務もJATEOが受託、
日本における総合的な支援を展開

➤ 母国帰国後の就職も支援、
幅広いサポートを実施

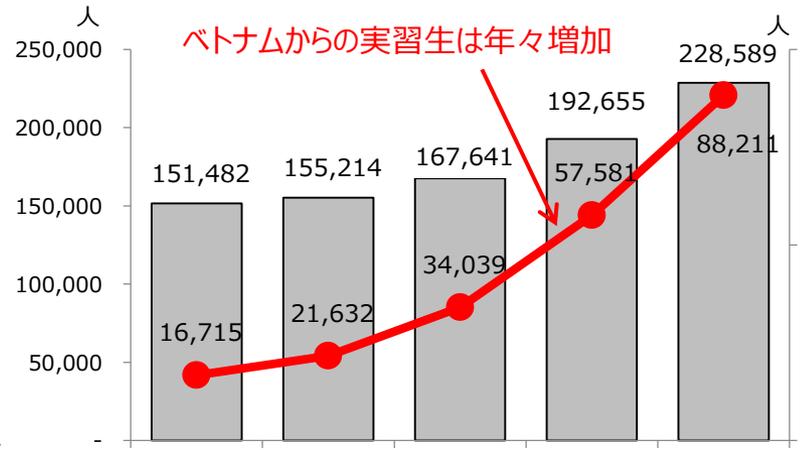
■ TRI DUC MDC., JSC

2014年からベトナム人材の日本向け技能実習生送り出しを開始。製造業や農業など、多岐にわたる送り出し実績を有する

【NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO.,LTD.】

事業内容	ヒューマンソリューション事業（人材派遣・人材紹介）、電子部品の製造及び輸出入業
設立	2012年12月

＜外国人技能実習生の推移＞



（出典：法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）統計」）

PS

クルマの「電池マネジメントシステム事業」を始動

環境規制強化を背景にEV化が進む中、「安全・安心」をキーワードに強みの電源技術を活かし「電池の制御・充電・蓄電」すべてに対応した商品を提供

➤ 「リチウムイオン二次電池パック」を開発・市場投入

バッテリーへのニーズは「高容量」から、急速充電対応や高耐久など「安全・安心」への特性改善に軸足がシフト、バッテリーの残量や劣化に対する高精度なチェック、過充電の防止など、充電・蓄電における適正な制御（電池マネジメント）が必要であり、これらを一気通貫で、かつ、フレキシブルにカスタム対応

➤ 主な用途は超小型モビリティ、特種用途車両（駆動用途以外の各種機器）など

➤ 三重県・松阪市のPST拠点にて、2018年から量産予定

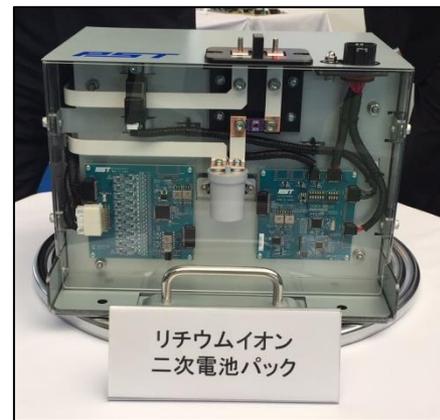
➤ 今後も順次開発製品を市場投入

電池セルの電圧や周囲温度を監視するとともに、電池が異常状態にならないように電池の充放電を制御するBMS（バッテリーマネジメントシステム）も、既存の電池充電制御技術を活用し自社開発、順次製品ラインアップを拡充

➤ 「環境性能」「EV化」をキーワードに新たな搭載分野も開拓

今後は産業用蓄電システム（ロボット、搬送機等）や非常バックアップ電池、UPS*などへも展開
また、これら電池を最適に充電する機能を搭載した専用充電器の開発も並行して推進

*UPS : Uninterruptible Power Supply（無停電電源装置）



市場環境の変化を好機と捉え、攻めの施策を実行

HS

人材リソースの多様化 「China+1」ニーズに対応

<タイ>

人材ソリューションの顧客基盤拡大
カンボジア・ラオス人材も合わせ
人材の安定確保・供給

<ベトナム>

「人材ソリューション+製造受託」による顧客基盤・事業規模拡大

EMS

「省人化・省力化」を軸に 生産受託規模拡大

- ・実装・プレス・成形・完成品組み立てまでのワンストップサービス力を強化
- ・「省人化・省力化」設備機器開発
「生産性向上+品質」ニーズに対応

PS

「電池マネジメントシステム」 事業立ち上げ・製品投入

- ・「リチウムイオン二次電池パック」開発、市場投入
- ・伸長する環境・産業関連市場において新たな事業の柱を構築

個々の特長を活かした連携で基盤を強化 新たなスキーム・新分野への参入で事業領域拡大

外国人技能実習生向け 総合支援

- ・実習生、受け入れ先双方への支援
 - 入国後研修、帰国後就業支援
 - 受け入れ先：必要業務の受託
- ・新たなスキームで実習生・受け入れ先双方に価値のある環境を提供、順次横展開

グループシナジーによる 顧客基盤の拡大

- ・中国・ASEAN市場における新規顧客・市場開拓
- ・HS事業との連携による省人化・省力化設備機器拡販

グループリソース活用による モノづくり戦略の実行

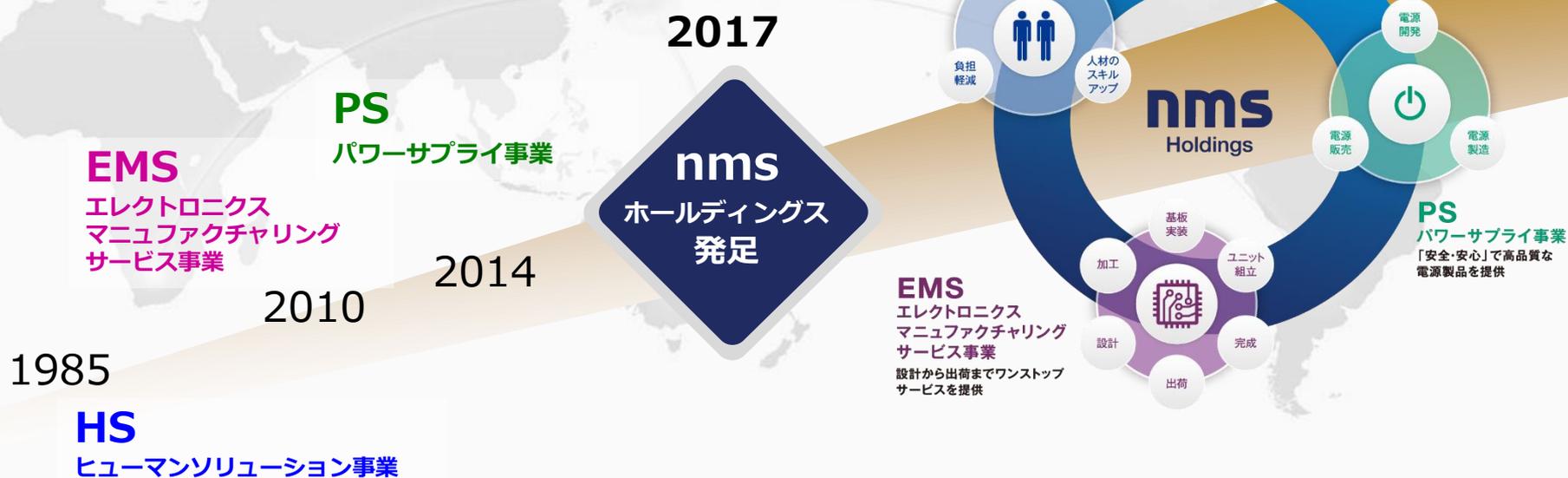
- ・グループリソース活用で外部製造委託をグループ内EMS企業へ移管、品質向上およびコスト競争力を強化
- ・次の拡大期を見据えた、効率の良い生産体制の構築

グループリソースを結集し、ニッポンのモノづくり品質を世界へ。

市場環境の変化を好機に。
多様な事業構造を強みにトータルソリューションを実現

お客様の多種多様なニーズに合わせ、
日本が誇る質の高いモノづくりをグローバルに提供

Next Stage >>



參考資料

nms ホールディングス株式会社

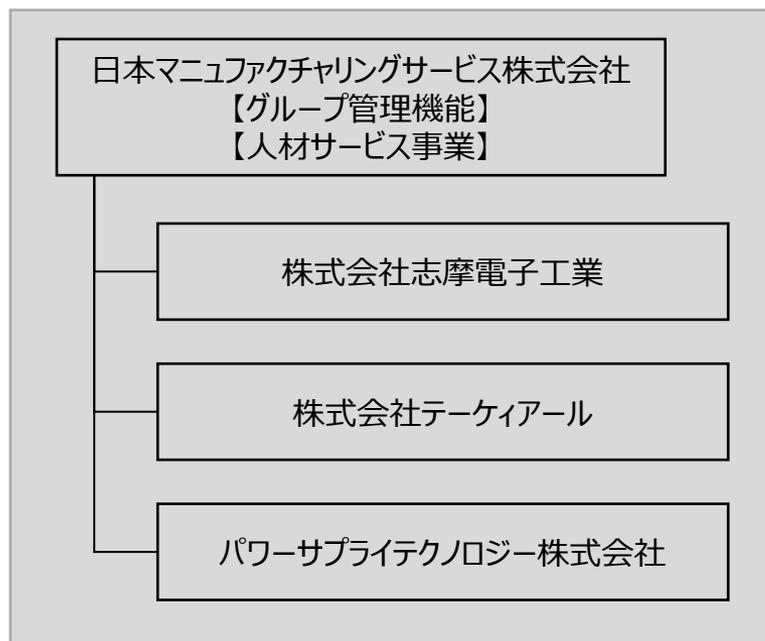
<http://www.n-ms.co.jp/>

商号	nms ホールディングス株式会社
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2017年9月30日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社 株式会社志摩電子工業 株式会社テーケアール パワーサプライテクノロジー株式会社

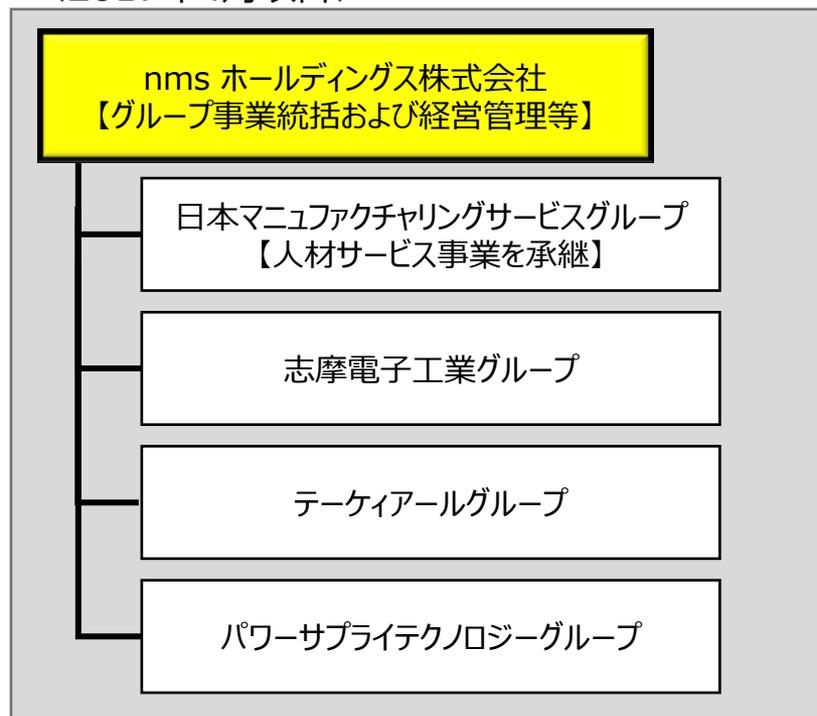
目的

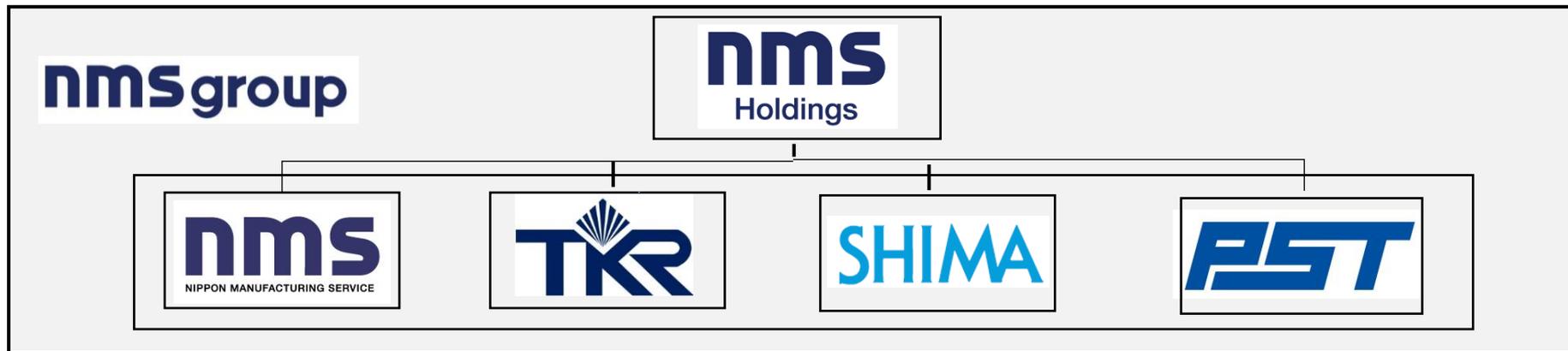
グループ経営機能の強化、市場および事業領域拡大への機動的対応等

- 持株会社体制移行後のグループ経営体制



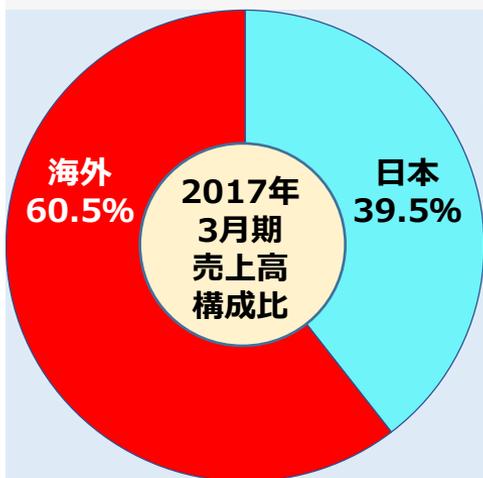
<2017年4月以降>





主な連結子会社（（ ）内は各社決算期）	進出国・地域	主な事業内容
ヒューマンソリューション事業（HS事業）		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本マニュファクチャリングサービス株式会社（3月） ・北京日華材創国際技術服务有限公司（12月） ・北京中基衆合国際技術服务有限公司（12月） 	日本 中国 ベトナム タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・製造派遣／製造請負 ・修理カスタマーサービス ・エンジニア派遣
エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス（EMS事業）		
<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社志摩電子工業（12月） ・株式会社テーケアール（12月） 	日本 香港（中国） マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器製造受託サービス（基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立等） ・省力化機器製造・販売
パワーサプライ事業（PS事業）		
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーサプライテクノロジー株式会社（12月） ・株式会社テーケアール（12月） 	日本 香港（中国）	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタム電源（低圧電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売 ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）の開発・設計・製造・販売

各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得



北京日華材創国際技術服务有限公司 (日華材創)
北京中基衆合国際技術服务有限公司 (中基衆合)



中基衆合 無錫分公司
中基衆合 深圳分公司
中基衆合 上海第1分公司
中基衆合 東莞分公司



nms(Thailand) Co.,Ltd.



SHIMA ELECTRONIC (H.K.) CO.,LTD.
TKR HONG KONG LIMITED
Power Supply Technology CO.,LTD
HONG KONG Branch

中宝華南電子 (東莞) 有限公司
中宝華南電子 (佛山) 有限公司
中宝華南電子 (佛山) 有限公司 深圳分公司
中宝華南電子 (佛山) 有限公司 蘇州分公司



Representative office
of nms (Thailand) Co.,Ltd.



TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.



NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO.,LTD.
NMS VIETNAM CO., LTD.



SHIMA ELECTRONIC INDUSTRY(MALAYSIA)SDN.BHD.
TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN. BHD.
TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD.



(参考) nmsグループ 業種・分野別売上構成(2017年3月期実績)

業種・分野	最終製品	当社生産品目	各事業における売上高比率			
			HS事業	EMS事業	PS事業	全社
情報機器	複合機・プロジェクター	メインボード・電源 マグネットロール	5.4%	23.4%	81.5%	31.8%
白物家電	エアコン、冷蔵庫	電源 (EMS)	3.6%	36.6%	14.1%	23.4%
産業機器	工作機械	メインボード実装	8.3%	12.7%	0.3%	8.9%
自動車関連	自動車	自動車用シート 車載用アンテナ、カーナビ	22.6%	4.5%	0.0%	8.0%
AV機器	AV機器	音響関連部品 BD・DVDドライブユニット	1.8%	10.3%	0.5%	6.0%
デバイス ・モジュール	電池・バッテリー、センサー		13.0%	1.2%	—	3.9%
半導体関連	半導体、ICチップ	半導体前工程検査 開発部門への派遣	13.3%	0.2%	—	3.4%
電子部品	電子部品		8.3%	0.1%	—	2.1%
遊戯 ・娯楽関連	釣具用電動リール 電動アシスト自転車、遊戯機器	釣具用カウンターリール 電源・トランス・基板実装組立	0.0%	2.8%	0.3%	1.6%
その他			23.7%	8.0%	3.3%	10.9%

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

